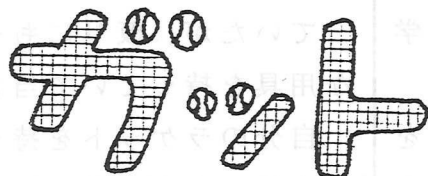


H C T C

since 1972



東村山市民テニスクラブ協議会・機関紙

コート取り当番クラブ

6月	7月分のコート	萩山A
7月	8月分のコート	萩山B
8月	9月分のコート	諏訪A

発行責任者・松井貞二
住所 東村山市
恩多町5-49-47

編集責任者・太田裕紀
FAX
☎ 0423-45-2727

第4回運営委員会報告

H. 8. 5. 12. ...スポーツセンター

会長連絡事項・・・柳名誉会長が5月11日に退院されました。

連盟連絡事項・・・太田杯のドローが決定した。

事務局から・・・本井教室(中級以上を対象)を6月22日(土)、23日(日)、9時～15時スポーツセンターで開催します。

○参加費は、一日・2500円です。(当日納金)

○申し込みは、6月8日までに各クラブの会長へ。

○各クラブ・4、5名の参加を目安にしています。

* 当日は、室内履きを忘れずにご用意ください。

技術部報告・・・5月6日の中級スクール(3回目)に18名参加。

○キャスター修理(5台)は終了しました。

○6月9日(日)より、初級・初心者のスクールが始まります。

会計部報告・・・予算の執行は計画通り。

広報部報告・・・住所等の変更・訂正がありましたらクラブの会長へ連絡を願います。

※ 各 ク ラ ブ よ り ※

青葉クラブ

☆5/4の東邦生命コート練習会に35名参加。

★夏の合宿は、8/24・25に、軽井沢で行います。

恩多クラブ

☆夏の合宿は、8/24・25・26に、沼津市で行います。

諏訪クラブ

★5/12に東邦生命コートで練習会を行いました。

萩山クラブ

☆5/18に東邦生命コートで練習会を行いました。

★夏の合宿は、8/24・25に、山中湖「グリーン・シャワー」で行います。

*** 6月のコート情報 ***

久米川コート

曜日	時間	練習日
土曜日	9:00~18:00	1, 8, 15, 22, 29
日曜日	8:00~18:00	2, 9, 16, 23, 30

恩多コート (早朝)

土曜日	7:00~9:00	1, 8, 15, 22, 29
日曜日	7:00~8:00	2, 9, 16, 23, 30

恩多コート (ナイター)

水曜日	19:00~21:00	5, 12, 19, 26
-----	-------------	---------------

東村山高校コート

6月29日 土曜日 13:00~17:00
担当は、萩山クラブです。

6月30日 日曜日 13:00~17:00
担当は、青葉クラブです。

☆☆☆七中コートの開放が始まりました。

使用方法については、運営委員会で検討中です。ご意見がありましたら、クラブの会長へどうぞ。

美住クラブ

夏の合宿は、8/17・18・19に、「富士テニス・ロッヂ」で諏訪クラブとの合同で行います。

春季市民大会 試合結果

混合ダブルス (市民テ)

一位 滝口・古泳、二位 小嶋・山岸、三位 椎津・秋元、村岡・村岡

太田杯・女子の試合結果

1部 一位 青葉A、二位 JSS、三位 諏訪・金曜会A

2部 一位 青葉B、二位 金曜会B、三位 榎会B・金曜会C

ラケットショップ "フ ズ" による

用具指導日は 6月9日(日)10時 久米川コート。

当日が雨天の時は、翌週になります。

「私 と テニス」

美住クラブ 曾々木 学

先日、広報部長から「私とテニス」の原稿依頼を受けた時、私のテニス人生が軟式を含めて、今年で

20年目であることに気がつき、記念に振り返って見るのも良いかなと思い、書かせて頂く事にしました。思い出の全部を書くことは不可能ですので、特に印象に残るベスト5をランキングしてみました。

第5位 「学習塾」

中学校・軟式テニス時代、休みは正月ぐらいなもので、とにかく練習と試合の毎日だった。ある時テニスばかりで全く勉強をしない私を母が見るに見かねて、無理矢理「塾」に入れた。

塾に通う為、週2回、練習を早退していた私は、次ぎの試合のメンバーをはずされ、非常に悔しい思いをした。さらにテニス部をやめさせ様と説得する母に、土下座して頼んで続けさせてもらい、その熱意が通じたのか、塾もやめさせてもらった。

第4位 「ウェスタン・グリップ」

高校入学と同時に硬式へ転向、先生や先輩のアドバイスを一切耳にせず、何を言われても軟式のままのグリップで押し通した。当初、あれこれ言う人がいたが、そのうち試合で勝つ様になり何も言われなくなった。当時はまだ、ボルグの他は薄いグリップが主流の時代だった。

第3位 「インターハイ」

とにかく、インターハイに出る事だけを考え、テニス以外の事には何の興味もなかった高校時代だった。その夢がかなった時、恥ずかしさも忘れての男泣き。

その時の対戦相手が、中学の軟式時代の同級生で名門、清風高校へ引き抜かれ行った友達ただだけに、感極まるものがあつたのかも知れない。

第2位 「85”ユニバーサード・神戸大会」

大学時代、神戸に華やかなスポーツの祭典の為、世界の若人が集まった。

私はテニス競技の主審を頼まれ、参加していた。

日本のファンが米国の選手にサインを求める華々しい横で、見るからにアフリカ大陸から来たと判る風情の選手が二人、古いテニスウェアで、ひび割れた、数年前のモデルのラケットを大事そうにかかえていた。ショックを受けた。

世界には、途上国と呼ばれる国がある事ぐらい知っていたが、仮りににもその国の代表選手だ。満足な用具を持っていて当たり前だと思っていた。

自分のラケットを持ってきて差し出してもいいとさえ思ったが、私には、話かける勇気さえ無かった。何も出来ずに手をこまねいている自分の小ささにもショックを受けた。

第1位 「東京都・チャンピオン」

96年4月7日。この日の事は、一生忘れないと思う。

有明コロシウム、テレビ局、歓声、拍手、J・ロイド、V・アムリトラジ、そして、ベスト・パートナー・小桧山 隆。

テニス・ピープルなら、一度は夢見る光景を自分が味わうことが出来た。我が人生、最高の日だった。

以上、私の思いでを走り書きしてみました。考えてみれば、今、私が一生懸命になれるのも、市民テニスの、私より一回りも、二回りも人生の先輩方が、向上心を忘れずに頑張っている姿を見れたからだと思います。

私、来月で32歳、まだまだ今後、市民テニスの若手？として頑張りたいし、技術部員として、少しでも皆様のお役に立ちたいと思っています。



編集後記

曾々木・小桧山組が「東京チャンピオン」で優勝し、そのご褒美で6月21日から5日間、フロリダに行くそうです。ATPテニス・キャンプでレッスンを受けたり、親睦試合をしたりするとのこと。

次号の「私とテニス」は、相棒の小桧山さんを予定しています。お楽しみに！

(美住クラブ・山口)